

足利高校の新校舎整備について（実施設計）

令和4（2022）年2月14日 教育委員会事務局総務課

1 設置計画

- (1) 概要：第二期県立高等学校再編計画に基づき、令和4（2022）年度に足利高校と足利女子高校を統合共学化し開校
- (2) 新校名：栃木県立足利高等学校
- (3) 学科等：全日制普通科（1学年6学級 240名）
- (4) 特色：進学に重点を置く単位制を導入

2 整備計画

- (1) 整備予定地 足利市有楽町（足利女子高校敷地及び足利市民会館敷地等） 約40,000㎡
- (2) 設計委託業者 A I S総合設計株式会社
- (3) 設計方針

① 特色ある学校づくりを推進するための施設

進学に重点を置く単位制の特色を十分に発揮できるよう、少人数授業や多様な選択科目の授業に対応できる講義室や、科目選択などのガイダンス機能の充実に必要な大講義室を整備。また、バスケットボール4面を配置できるアリーナを備えた体育館を整備。

② 生徒の主体的な学習活動を支援するための施設

生徒の自主的・自発的な学習を促すため、図書館と連携した自習室を整備するとともに、新学習指導要領が重視する「主体的・対話的で深い学び」を支えるICT機器を整備。

③ 快適性やユニバーサルデザインに配慮した施設

中央吹き抜け部分にハイサイドライトを設け、採光通風を確保して快適な空間を整備するほか、各フロアにバリアフリートイレを整備。

④ 安全性を備えた施設

校舎中央部を吹き抜けとし、校舎南側と北側に各教室を配置して見通し良くするとともに、浸水被害を最小限に抑えられるよう職員室等を2階に配置するほか、キュービクルを屋上に設置。

⑤ 時代の要請に柔軟に対応できる施設

将来の教育内容の変化等に対応した配置や、施設の長寿命化を考慮した施設を整備。

⑥ 環境に配慮した施設

再生可能エネルギーの導入や木材利用など、環境負荷の低減に配慮した施設を整備。

⑦ 景観に配慮した施設

校舎中央部吹き抜けのソフィアコートの壁面に足利銘仙をイメージさせる伝統色を使用

(4) 建築物延床面積等

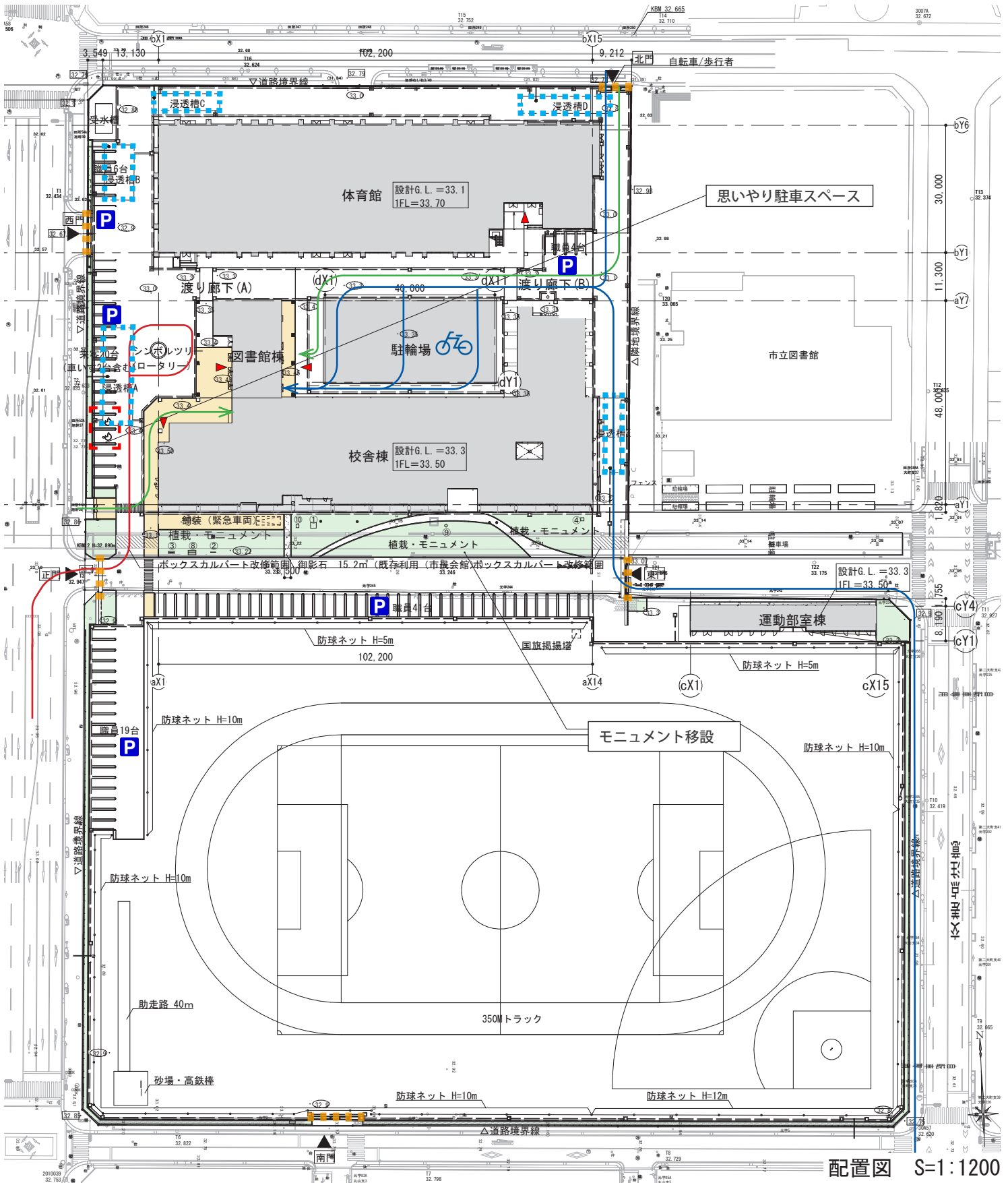
項目	構造	階数	延床面積
校舎	RC造	3階	8,842.79㎡
体育館、武道場	RC造一部S造	一部2階	2,893.40㎡
運動部室棟	W造	1階	292.80㎡
駐輪場	S造	1階	768.00㎡
計			12,796.99※㎡

※屋外で床面積に算入される部分を除いた床面積は12,363.42㎡

(5) 整備スケジュール

区分	年度				
	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)
仮校舎整備(現足利高校) ・校舎改修工事 ・仮設校舎賃借	設計	工事	新校開校		解体
既存施設解体 ・足利市民会館 ・足利女子高校校舎	設計	工事	賃借期間		
新校舎整備 ・建築工事 ・外構工事	基本・実施設計	設計	工事	工事	移転

栃木県立足利高等学校新校舎新築工事



配置図 S=1:1200

■配置・動線計画

校舎は敷地内の北側に集約配置し、南側をグラウンドにしています。歩行者、自転車、自動車の動線を明確に分離し、分かりやすく安全でコンパクトな動線計画としています。

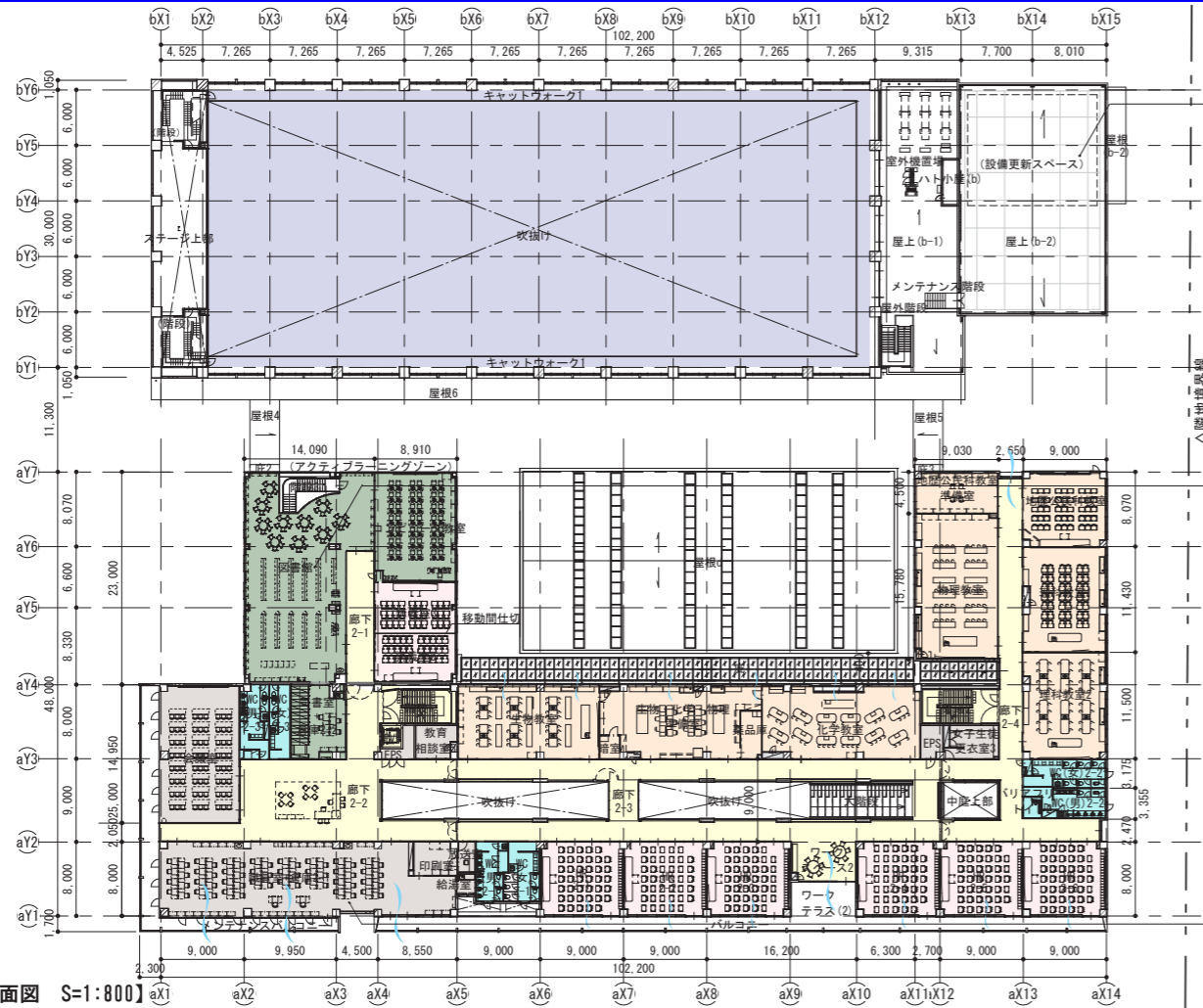
〈駐車台数〉

職員	: 70台
来客	: 20台
計	: 90台

〈凡例〉

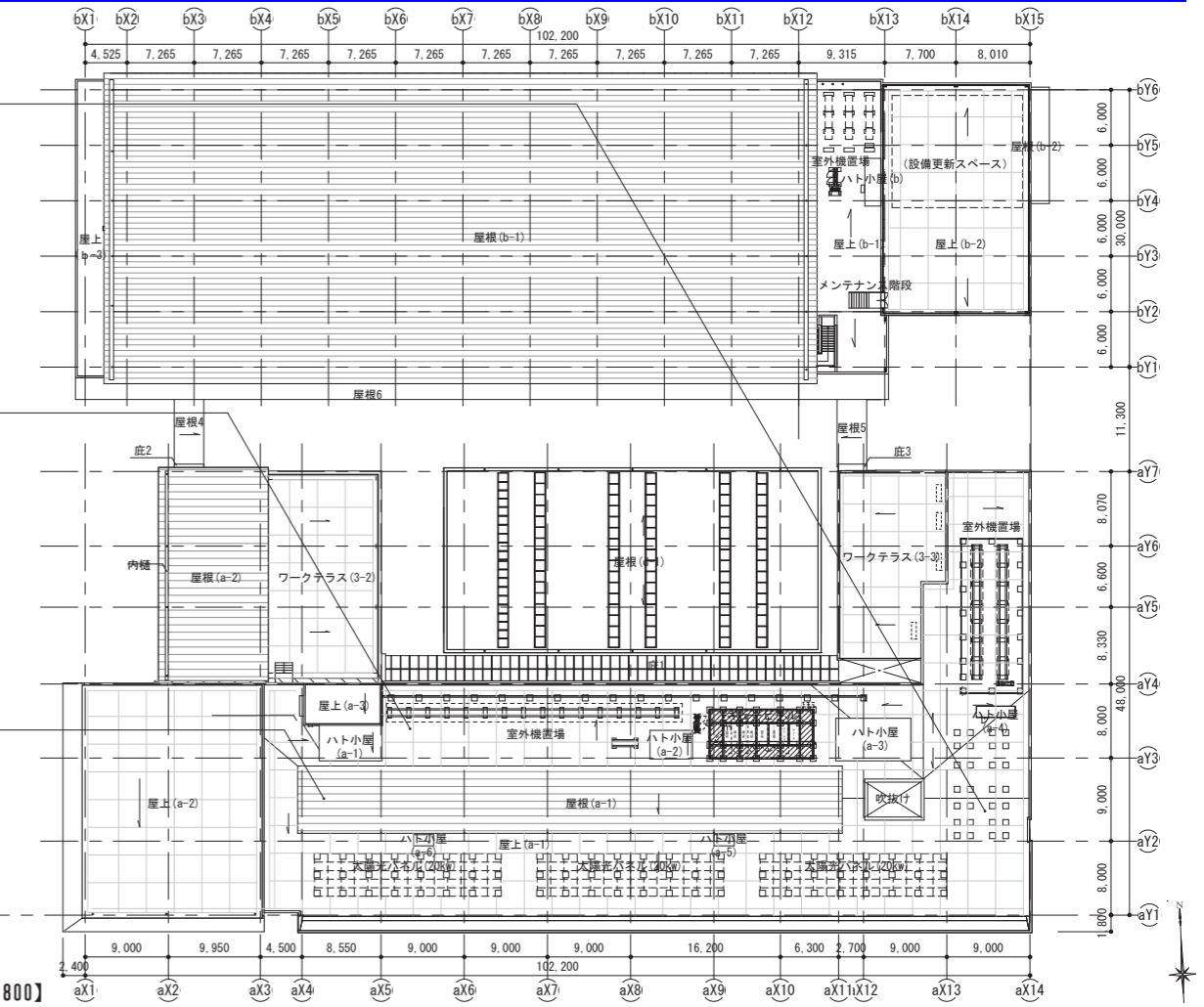
	: 自動車動線		: 思いやり駐車スペース
	: 歩行者動線		: 門扉
	: 自転車動線		: 歩行者エリア
	: 雨水浸透槽		: 植栽帯

栃木県立足利高等学校新校舎新築工事

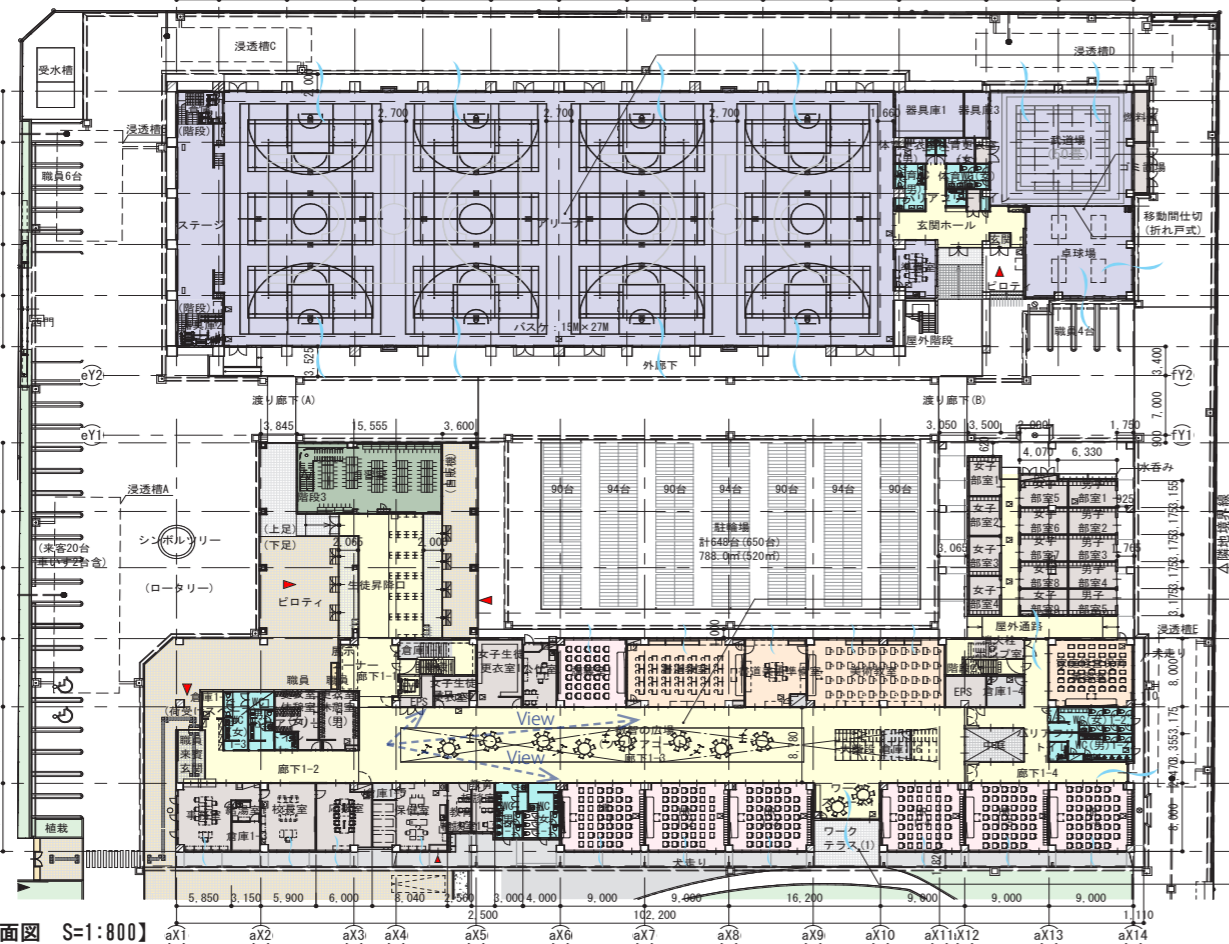


【2階平面図 S=1:800】

- 〈将来を想定した計画〉
将来的な設備の更新を想定し設備スペースを確保
- 〈メンテナンス性〉
屋上は全てアスファルト防水、押えコンクリートとし、耐久性、メンテナンス性に配慮
- 〈主体的な学びの場〉
図書館、コンピュータ教室、1階の自習室を一体的に利用できる学習環境を整備
- 〈環境への配慮〉
ハイサイドライトにより校舎内の採光を確保し自然換気を行う
- 〈水害対策〉
サーバーや防災盤のある職員室を2階に配置し、水害時の被害軽減を図る

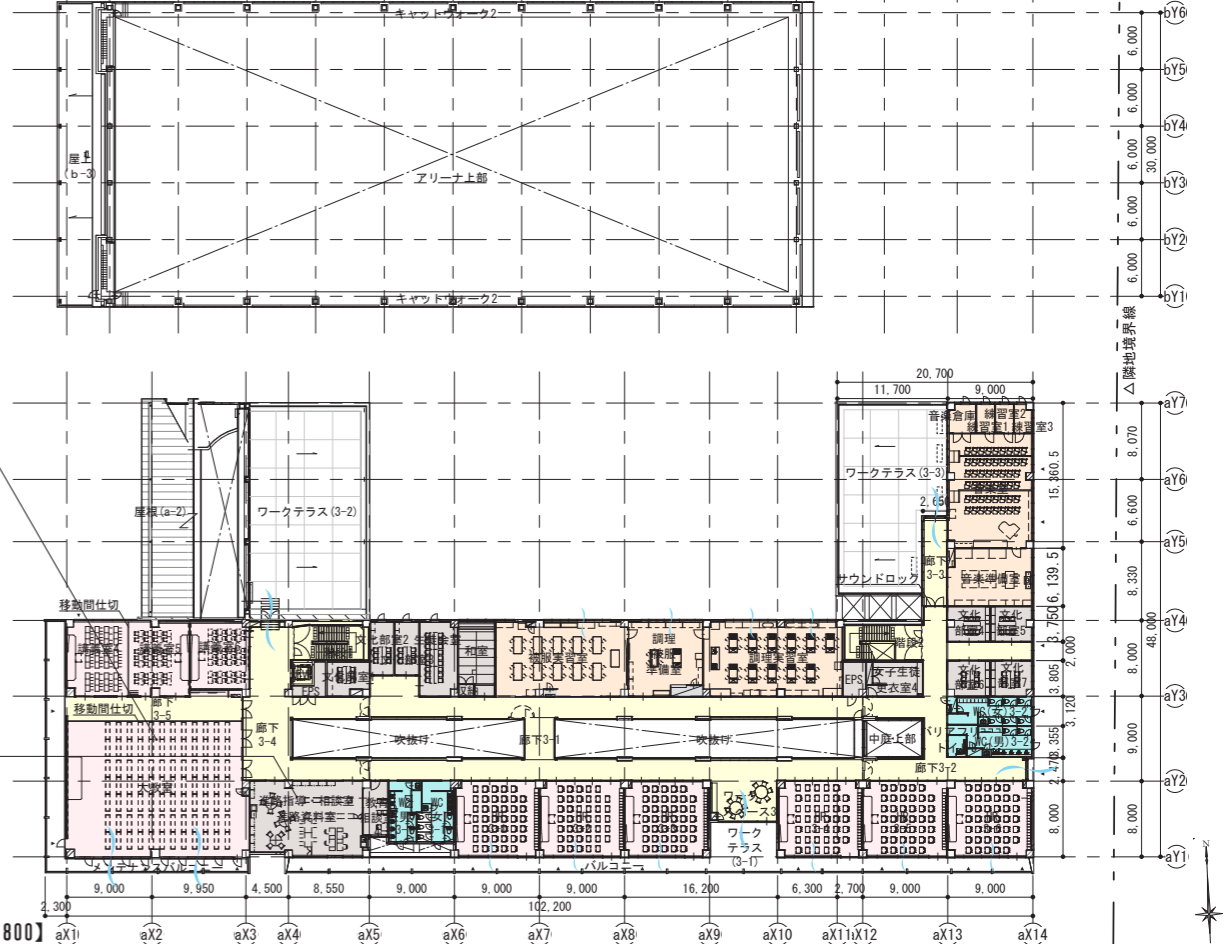


【屋根伏図 S=1:800】



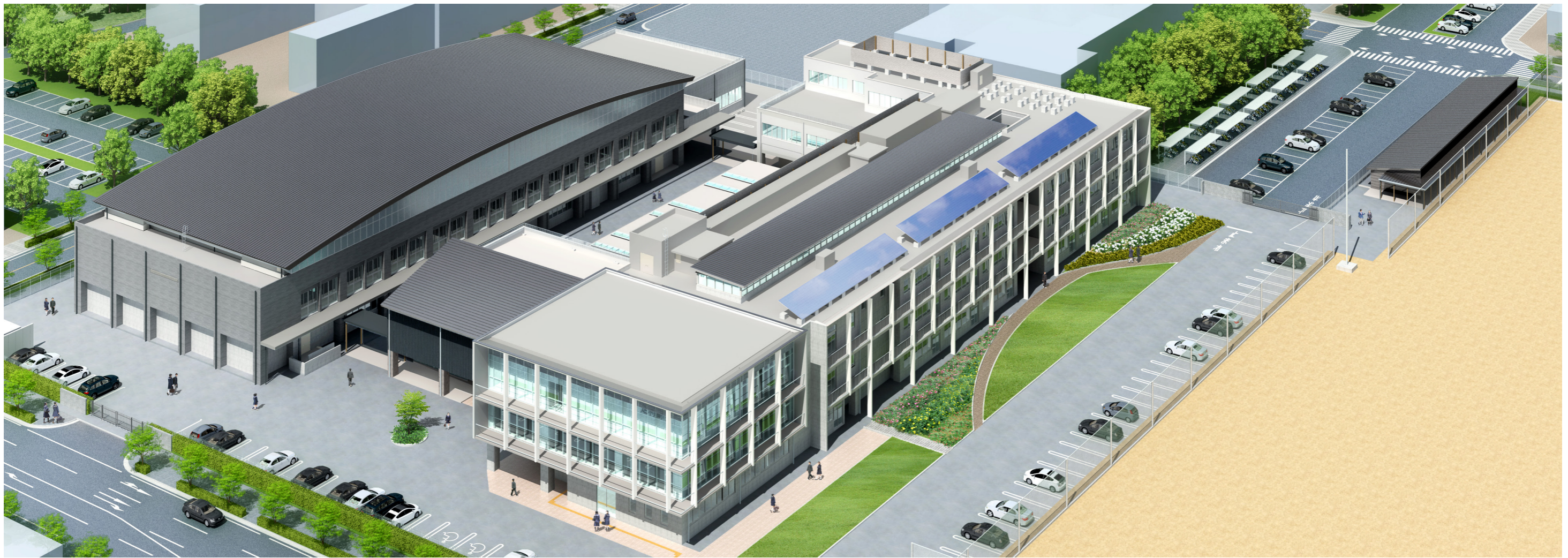
【1階平面図 S=1:800】

- 〈アリーナ〉
バスケットコートをも4面確保
- 〈フレキシブルな空間〉
武道場と卓球場は可動間仕切で仕切り、集会などで一室として利用できる計画
- 〈大教室〉
フラットな床の箱型の形状とし、家具もスタッキングのできる移動式のものとすることで多目的な利用が可能。
- 〈ソフィアコート〉
3層吹抜けの大空間とすることで、生徒の活動、交流の場となり、環境装置としても機能
- 〈進路関係室の集約〉
進路関係の機能を一部屋に集約し、教育相談室と並べて配置することで進路相談をしやすい環境を整備
- 〈ワークスペース〉
生徒の交流を生み出し、吹抜けへの風の通り道としても機能



【3階平面図 S=1:800】

栃木県立足利高等学校新校舎新築工事



【鳥瞰イメージ】



【校舎 南側立面イメージ】



【体育館 北側立面イメージ】

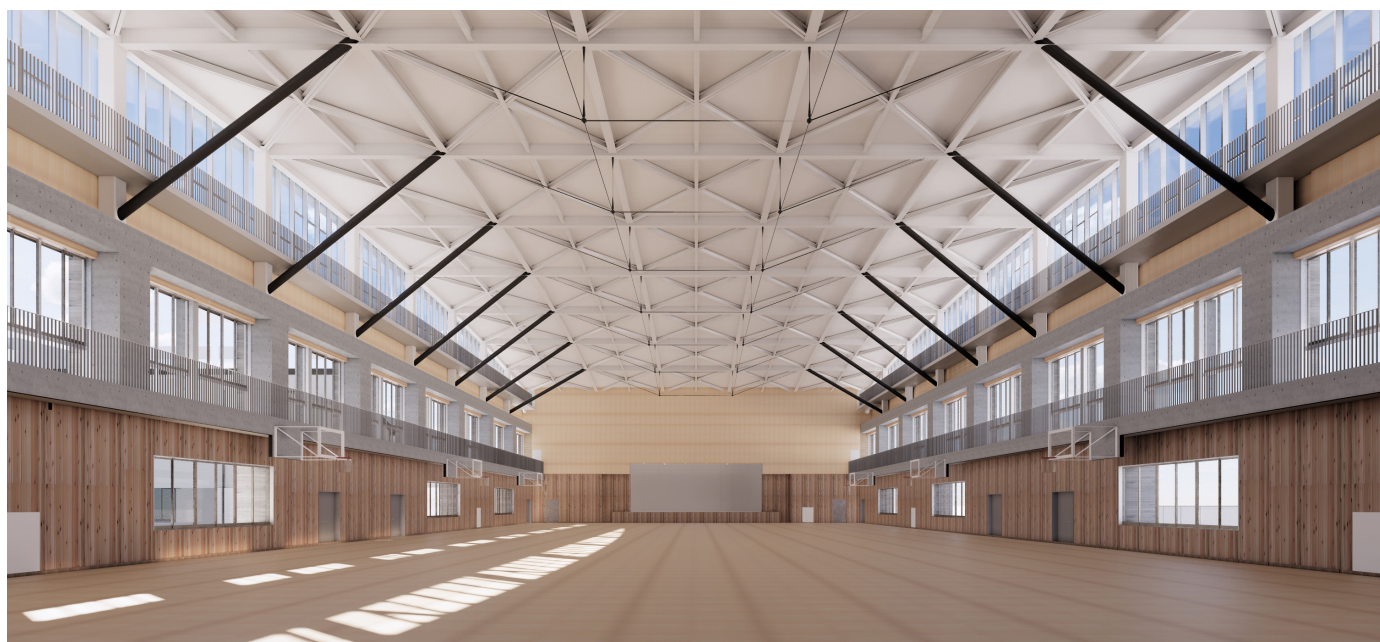
栃木県立足利高等学校新校舎新築工事



【ソフィアコート 内観イメージ】



【図書館 内観イメージ】



【体育館 内観イメージ】